

みはら再発見 わたしのまちのふるさと大使

市の情報発信や産業・観光などの振興のため、市にゆかりのある15人と1組に「三原市ふるさと大使」を委嘱しています。

最終ページでは、三原市ふるさと大使の皆さんの三原の好きなおところや思い出などを紹介します。

観光課 ☎0848・67・6015

平成31(2019)年3月号
第168号 毎月1日発行
編集・発行／三原市秘書広報課

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
秘書広報課 ☎0848・67・6007
市ホームページ <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音テープ・CDも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。

「三原市の誇れるところや三原市での思い出を教えてください。」
「山と海が非常に近くにあり、景色も大変美しいところです。子どもの頃は毎日、山や海などで遊んでいました。」
山の幸、海の幸が豊富で、毎日の食事には瀬戸内の小魚や地元の野菜が出たものです。そのためか、80歳を過ぎた今でも歯はほとんど自分のものです」
「故郷」を離れてみて感じたことは。
「もう三原を出て60年余りに

なりません。三原の人は非常に素直で謙虚で親切です。三原の人はもちろん、広島の人にも少し野望を持ってよいと思います」
「市民の皆さんへメッセージをお願いします。」
「このような環境に恵まれた場所は、全国的に見ても少ないです。もっと全国の皆さんにPRしましょう。」
私も微力ながら、関西で多くの人に三原を知ってもらおうように努力したいと思います」



近畿広島県人会名誉会長
とよまつまさひろみ
豊松正文 さん

三原市本町出身。現在の広島大学附属三原小・中学校を卒業し、三原高校に進学。1年生の時に兵庫県へ転出する。広島大学工学部を卒業後、昭和33年に大日本塗料株式会社に入社し、取締役、常務取締役、専務取締役、代表取締役社長、相談役を歴任。平成23年に近畿広島県人会会長に就任し、現在は同会の名誉会長を務める。

やっ、踊りも全口区に

(豊松正文さんの直筆メッセージ)



桜山の中腹から見た景色



私の好きな風景

子どもの頃、毎日のように遊んだ桜山と景雲台を今でも思い出します。

あ・と・が・き
3月 月は獅子のごとく来りて、子羊のごとく去る。イギリスには春の到来を表すこんなことわざがあるそうです。3月はライオンのように荒々しい天候が始まり、子羊のように穏やかに春を迎えて終わる。日本では三寒四温でしょうか。寒い日と暖かい日が交互にやって来て、次第に春に近づいていく。春一番、寒の戻り、名残雪も。しばらくは不安定な天候が続きます。▼とはいえ、暑さ寒さも彼岸まで。春の足音が大きくなるにつれて、私の鼻もムズムズしてきました(S)

三原市の人口(1月31日現在)
※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	43,700 世帯 (-113)
人口	94,249 人 (-1,333)
男	45,184 人 (-592)
女	49,065 人 (-741)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で
検索

窓口を延長しています

と き 祝日を除く木曜日19時まで
内 容 住民票・戸籍・印鑑登録
証明書の発行、パスポートの交
付、市税の納付、納税相談

問い合わせ先 市民課(☎0848・67・6047)、税制収納課(☎0848・67・6035)

航空機の騒音測定結果(1月分)(Lden)
▶正広局(本郷町善入寺正広)=51.8
▶本郷局(本郷町船木川西上)=53.2